



迫力の荒馬踊り



外に出て思いっきり走ったりリレー

娘の姿に感動したうんどう会

川邊 美穂/年長児母

年長で最後の運動会で天気心配でしたが、お昼に晴れてきて、リレーなど外での競技も見れてよかったです。ねいろはパパとママにわかってもらえたからもう大丈夫!! 運動会も頑張る!!と張り切っていて、0歳からつばめで色々経験させてもらい、年長になり仲間と一緒に頑張ろう☆という姿を見せてもらいとても感動しました。パパも最後の運動会でお休みさせてもらい始めて参加できたのでよかったです。

自然体の子ども達

横橋 剛/年長児・0才児父

あいにくの天気の中でしたが職員の方々の創意工夫にて外と変わらない素晴らしい運動会だったと思います。運動会に限らないことですがつばめ保育園の子供たちは非常に自然体ですべてのものごとをとらえていることを今回あらためて感じました。自然体でものごとをとらえ自分を表現できるということは人間の個性の原点でありとても素晴らしいことだと思います。一方、通常中々そうすることは難しく特に学校に上がると子どもの好き嫌いに関わらず半ば強制的にカリキュラムをこなさざるを得ない状況になってしまいます。だからこそ学校に上がるまでの乳幼児時期がとても大切な時期なのかと思います。その時期に自然体で受け止めること表現することを保障するつばめ保育園のような保育の重要性を感じながら自然体の子どもたちを微笑ましく見つめた運動会でした。

みんなで食べる食事は格別



山の空気はおいしいね



雨の中の藤城清治美術



石だらけの山道もへっちゃら!

ひたち海浜公園遠足

10月26日(月)

「まだ!!」「もうちょっとなの!!」など、車内では早く着きたい思いで子ども達の心ははやります。歌ったり、しりとりしたり、折り紙で遊んだり、けんかもして公園に着きました。

さっそく、前から乗りたかったシーサイドラインに今回は乗ってみました。コキアの丘まで15分位走りましたが、子ども達の歓声が上がったのはススキの群生地で、秋の風に揺れるススキは見事でした。

コキアの丘に着いてお弁当を食べ終わると、どんどん丘に登っていき走り回りながら散策です。真っ青な秋空と、ピンクのコスモス、そしてコキアの真っ赤な色が見事なコントラストで絵のようでした。なんとも美しい景色で、自然に「きれいね」と何度も言葉が出てきてしまうのです。

夏に遊んだ阿字ヶ浦の海にも行きました。穏やかな秋の陽射しを受けて、誰もいない海で波あそびをしました。そのうち、年長児は泳いでいました。



コキアの丘をバックにお弁当



色とりどりの散歩道

那須塩原の渓谷散策

11月13日(金)~14日(土)

那須塩原にある元職員小出さんの山の家が、子ども達は大好きです。小さな小さな山荘ではありますが、この小さなお家にお泊りすることが嬉しいのです。家主の小出さんが作って下さる食事愛情たっぷり。

豊かな自然と小さなお家と美味しい食事。そして仲間達と泊まる冒険にワクワクするのでしょう。

今回は、1日目は塩原の渓谷沿いに、散り始めた紅葉の中を歩いてみました。上り下りの急な山道を軽快に歩いていく子どもたちでした。川で泳ぐ魚を眺め、空に高く飛ぶ鳥を見つけ、滝のしぶきに驚き、長い長いつり橋を渡り...日常とは全く違う自然の中でたっぷり遊んだ一日でした。

翌日は雨降り。藤城清治美術館に行き、影絵の仕掛けに目を吸い寄せられていました。93歳でなお創作意欲を持ち、新しい作品を生み出し続ける藤城清治氏の溢れるエネルギーが子ども達に伝わるかのように、一枚一枚の絵に集中していました。

帰りに売店で、好きな絵ハガキを2枚づつ選んでいる子どもたちの顔はとても嬉しそうでした。

1枚はお母さんのお土産にするのかな?